

Blackmagic Design UltraStudio 4K/HD Mini を Apple Silicon の Mac で使用する方法

Apple Silicon の Mac(M1MAX など)の Premiere Pro ではメニューにキャプチャがなくキャプチャをすることはできません。

[Apple シリコン用 Premiere Pro の既知の相違点と制限事項](https://helpx.adobe.com/jp/premiere-pro/kb/premiere-pro-for-apple-silicon.html)
(<https://helpx.adobe.com/jp/premiere-pro/kb/premiere-pro-for-apple-silicon.html>)にあります。 「**キャプチャワークフロー (DV、HDV、サードパーティのキャプチャサポートおよびデバイス制御)**」は制限事項となっています。

Premiere Pro を以下の手順で **Rosetta2 エミュレーションモード**で実行することで **Intel Mac と同じメニューになり**、キャプチャができるようになります。

2023 の場合は 2022 の部分を 2023 に置き換えてください。

- ①アプリケーション> Adobe Premiere Pro 2022> Adobe Premiere Pro 2022.app を右クリック> **情報を見る** を選択。
- ②「**Rosetta を使用して開く**」にチェックを入れ、[X]でウィンドウを閉じる。



- ③Finder>移動> **書類**を開く。
- ④Adobe>Adobe Premiere Pro> **22.0 フォルダ**をデスクトップに**移動**。
- ⑤Premiere Pro を起動すると Intel Mac 同様ウィンドウメニューにキャプチャがある。

⑥Uletastudio Express と同じようにキャプチャを行う。

- ・上記の工程で④を行わないと**音声しかキャプチャされなくなったり**などします。

- ・キャプチャが完了し編集を始める際は、一度 Premiere Pro を終了し、書類>

Adobe>Adobe Premiere Pro の中にデスクトップの「**22.0 フォルダ**」を**ドラッグして入れて上書き**します。

そしてアプリケーション>Adobe Premiere Pro 2022>Adobe Premiere Pro 2022.app を右クリック>情報を見るで「**Rosetta を使用して開く**」の**チェックを外して**情報を閉じます。その後 Premiere Pro を起動します。

Rosetta2 エミュレーションモードでは Apple Silicon の性能を最大限に活かすことができないためです。